

# 旭1年便り

## たくましくなった1年生

早いもので、あの初々しい入学式がまもなく一年前のことになりそうです。

大きめの制服が身の丈に合うようになり、それと共にかなり自立した学校生活を送ることができ、旭中の一年生はたくましくなりました。

そんなみなさんの中一時代につき合った一年生職員から、みなさんや保護者の方へのメッセージを紹介します。



杉江 浩一

(A組担任・保健体育)

あつという間の一年でしたね。この一年で成長することができましたか？ 気の緩みが出てきていませんか？ 二年生に向けて今できていること、できていないことを考えてみてください。

やる気に満ちあふれていた一年前の自分に恥じないようがんばっていきましよう。そして、まだまだ隠されている力を発揮してほしいと思います。



松崎 裕哉

(B組担任・社会)

一年間ありがとうございました。今年初めての担任

ということもあり、みんな同様、「初めて」ばかりの一年でした。みんなに支えられ、みんなとともに自分も成長できた一年だったと思います。みんなは「この部分は成長した」という実感はあるでしょうか？

スポーツでも、勉強でも、何でも、自分の成長に向き合うことは大切です。成長を感じることは次のステップに向けてのエネルギーになります。特に、中学生という時期は、成長を感じるチャンスがたくさんあります。ぜひ、この一年の成長を振り返ってみてください。

三送会でのみんなの合唱は、聞いていて鳥肌が立つほど迫力のある素敵なものでした。次のステップで、みんなのどのような姿を見られるのか、とても楽しみにしています。

頼本 佑香

(C組担任・国語)

緊張と新しい制服に包まれて迎えた入学式から一年が経ちました。四月に「中学校は努力した分だけ『楽』し

くなる場所」という話をしました。今のあなたはどうか。「努力すること」は勉強や運動に限ったことではありません。友達とのけんかが減ってきた、友達関係で悩んだけれどそれを乗り越えた、気分ののらない日も部活動に参加した：どれも頑張ったことだと思います。悔いが残った人は来年こそ「楽しい」と言えるよう、努力を重ねましょう。そして、この一年頑張った自分をほめてあげましょう。



田中 謙次

(D組担任・美術)

一Dのみなさんへ  
楽しい一年をありがとうございました。  
一D Smile

e」の学級目標通りに笑顔にあふれた日々を過ごすことができませんでした。取りかかりが遅れがちなどころ、おしゃべりがすぐに止まらないところは新学年ではきちんと改めてください。

一年生の美術の授業は、やる気があつて、とても楽しくできました。二年生では「発想」や「工夫」が大切になつてきます。二年生でも素晴らしい作品がたくさんできあがることを楽しみにしています。



吉田 仁

(E組担任・英語)

旭中に来て七年目の今年一年間、一番平和で、穏やかに毎日過ごすことができました。みなさんの話を聞くときのキラキラとした真剣なまなざし、言われたこと

素直に反応しそれにこたえられるところ、人なつこく近づいてきてくれてたくさんお話ができたこと、すばらしいことばかりでした。

二年生、三年生とどんな旭中生に成長するのか、とても楽しみです。一年間ありがとうございました。



森本 一也

(F組担任・保健体育)

一年間ありがとうございました。初めの集会に先生が言った言葉覚えていますか。「先生は体育は何でもできます。」と言いました。それは、

自分が運動が好きで、死ぬ気で頑張ってきたことだからです。みんなもこれだけは負けない、これだけは譲れない、ということを作つて下さい。とことん極めてください。

それが自分の自信になるし、生きる力になります。これからも一度しかない中学校生活を全力で楽しんで下さい。



堂込 勇貴

(G組担任・数学)

今年が一番の思い出は、G組の体育大会の優勝です。G組は普段は大人しい、運動もずば抜けてできる人がいない

クラスと言われていました。それでも体育大会では、そんな雰囲気を感じさせない、普段の何十倍ものパワーを発揮してくれました。感動しました。

ある高校野球強豪チームの校歌の歌詞には「やればできるは魔法の合いことば」というフレーズがあります。体育大会で、G組メンバーは「やればできる」ということを肌で感じたと思います。

みんなにも「やれない、無理。」と決めつけ、諦めた経験はありませんか。それは「やれる」と思わないから「やらない」し、「やらない」から結果が出ないだけなのかもしれません。「やれない」と決めつけないで、「やればできる精神」でまずは何事にも一生懸命挑んでほしいと思います。「やればできるじゃん、二年生」って姿を来年度見せてくれることを期待しています。

眞木 美香

(H組担任・音楽)

みなさんと出会ってから、はやいもので、一年が経とうとしています。小学生の時に

は、体験できなかった、たくさんのお話を旭中学校で学んできたことでしょう。私がみなさんと過ごしてきた感じたことは、生活していく中で、きちんとやらなければならぬことをしっかりとできる人が多いということです。挨拶ができる。「ありがとう」といえる。人の話が静かに聞ける。約束を守ろうと努力するなど：それは、基本的なことかもしれませんが、人間にとって、とても大切なことです。二年生になつて、また新しい出会いがあります。自分がきちんと真面目に頑張ってきたことは、これからも継続してください。そして、足りなかったことは、これ

から良くなつていくように努力してください。最後にみな



体育大会

さんの歌声も、とてもステキでした。これからの成長がますます楽しみです。



合唱

大澤 靖司

### (I組担任・理科)

修了おめでとうございませう。今年度一年間は、私自身が本当に楽しく一年を送ることができました。これは、一年生の皆さん一人一人が、「自覚をもつて、前向きに学校生活を送ることができた。」ということが、非常に大きかったと思います。「個々の自覚によつて、学年全体がこんなに良くなるんだ！」をここまで実感できたのは、久しぶりのことでした。二年生になつても、一人一人が目標をもつて一年を過ごせることができると良いと思います。



職場労働体験

坂田 春夫

### (学年担当・技術)

一年生のみなさん、あつという間の一年間でしたか？それとも長く感じた一年間でしたか？先生はあつという間の一年間に感じました。(年齢の関係もあるかも)  
この一年間でみなさんの成長を特に三学期は感じるものが多くありました。先生は朝、昇降口が土で汚れていると金原先生と一緒に掃除をしています。ある一年生の人は「ありがとうございます」と言ってくれ先生たちの心はほっこりします。  
また、プログラムの勉強では人が変わったかのように前向きに取り組む姿が多く見られました。技術は生活に関わる授業です。二年生はものづくりの授業になります。また新しいみなさんの姿が見られることを楽しみにしています。

### 金原 はるみ

#### (学年担当・英語)

文化発表会のクラス練習で、「エッ、何これ？」と驚きました。どのクラスも全員が一生懸命歌の練習をしていたのです。当たり前前のことですが、それがちゃんとできていました。3年生を送る会の学年練習1回目のことです。



職場労働体験

再び「エッ、すごい。」と感動しました。300人を超える人



職場労働体験

が、すばらしい歌声で、しかもごそごそする人が一人もなく真剣に歌っているのです。このライブに立ち会えて、自分は幸せだとも感じました。卒業式で3年生の歌を聞けばいつも心打たれますが、送る会の1年生の練習でこの感動は初めてです。「泣いた？」と何人かの人に尋ねられて「泣いてないよ。」と答えましたが、本当は涙が出てきました。皆さんは優れた力を持つています。

持っています。

キャンプの目標は「協力し、仲間と作るう最高のキャンプ」  
「高遠」と実行委員が決めてくれました。目標どおり、クラスで学年で力を合わせてすばらしいキャンプにしましょう。そして秋には文化発表会で、とびっきりの歌声を響かせてください。今からとても楽しみです。

### 久保 良輔

#### (学年担当・数学)

一年生のみなさん、もうすぐ一年生が終わります。内容としては、主に教科についてです。小学校では授業内で理解できていたことがいる

いろいろあったと思います。しかし、中学校では授業内で理解できなかったことがあったと思います。そのことがきっかけで、授業に対して前向きな態度（ポジティブな態度）から後ろ向きな態度（ネガティブな態度）に変わっていく人が見受けられます。授業内や授業後に質問をしたり、復習をすることで前向きな態度を維持することが大切です。今からでも気持ちを切り替えて前向きな態度で授業に臨んで下さい。

二年生では二年生の勉強を踏まえた内容になります。春休みに自分の勉強で不足しているところは復習をして下さい。今からでも遅くはありません。

最後になりますが、半年

間ありがとうございます。



福永 さやか

(学年担当・国語)

四月の授業開きで、私は皆さんに「ノートの文字は美しく、且つ速く書く力をつけましょう。」と伝えました。

今、一年分のノートを振り返つてみましょう。どのページも読みやすく復習しやすい仕上がりになっていきますか。私が担当したE・F・H・I組の皆さんは、非常に活発で、いつも様々な意見を出して授業を盛り立ててくれました。しかし、誤字やミスが

減らずに悩まされている人も多かったように感じます。

自分が読み返したくなる

ノート作りを心掛けることは大切です。ノートが見やすいと授業内容を思い出しやすくなり、復習にも大きく役立ちます。もちろん誤字や脱字にも気づきやすくなります。二年生になっても「ノートの文字は美しく」をぜひ継続してくださいね。終わりに、一年間、授業と一緒に楽しんでくれてありがとうございます。

保護者の皆様へ

右に記したように、普段の学習で誤字・脱字になかなか気づけないお子様がいらっしやいます。時折、授業のノートを見て、一言励まして頂けると有りがたいです。一年間、お世話になりました。

越野 純也

(学年担当・理科)

一年間、ありがとうございます。秀で、あつという間でした。私は、授業以外のところでは、最も自由の身でありました。なので、休み時間では自由のままに歩きまわり、とにかく皆さんと過ごしました。特に昼休みは、私にとっ

てかけがえのない時間でした。しっかりと授業を受けるために、しっかりと休んで遊んで、リラックスしなければいけません。

先生も生徒も人間です。遊ぶ時は全力で、共に遊びましょう。そして真剣になるところは真剣に。肝心なのはその切り換えです。切り換えの出来る、カッコイイ先輩を目指して、これからもがんばりましょう。



伊藤 育雄

(学年担当・社会)

フルタイム教員生活の最後の一年間は、一時間一時間の授業が楽しくて楽しくて、授業をするのが待ち遠しくなるくらい私自身が授業を

楽しめました。

みなさんの学ぶ姿勢は基本的にしっかりとっていて、好感が持てました。授業中に他事をしていて注意することがありましたが、その回数は想定下でした。

その教科が好きになったり、何でそうなるんだろうと追求できたりすると、自ら進んで学べます。そんな学びをめざしましょう。

生活面では、生徒指導部が忙しいという学年ではありませんでした。これも基本的なルールを守ることができ、クラスメートに対して思いやることができる人たちが多かったと思います。

これからは、さらに自立して自分のことは自分で行い、もつともつとたくましくなっていくしてほしいと思います。二年生の五月にある高遠キャンプは、たくましくなれる絶好の機会です。積極的に取り組んでください。

保護者のみなさんへ

家庭と学校とがそれぞれの役割で協力して「子どもたちを育てる」こと、当たり前

のことですが、このことができると、彼らは健やかに成長してくれます。この一年間、旭中の一年生は健やかに成長してくれました。保護者のみなさんの協力があってのことだと思えます。ありがとうございます。

さて、中学二年生は思春期の真ん中に入り、子育てのなかで一番難しい時期になります。大人にとっては「反抗期」になるわけで、ちよつと厄介です。（「中学二年担当の先生の給料を一番高くするべきだ」という学者がいるくらいです。）

しかし、「反抗」することは自立性を高めてくれるので、「反抗」とうまく付き合っていくたいです。そのためには、許せる「反抗」か許せない「反抗」かを判断し、許せないこと（自分勝手な言い分や人に迷惑をかける言動など）には、親として話をしていかなければなりません。

苦勞もある子育てですが、それもあと数年ですから、楽しんで子育てしていきましょう。